



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月12日

上場会社名 株式会社幸楽苑 上場取引所 東
 コード番号 7554 URL https://www.kourakuen.co.jp
 代表者（役職名）代表取締役会長兼社長（氏名）新井田 傳
 問合せ先責任者（役職名）執行役員財務経理部長（氏名）近藤 博之（TEL）024-943-3351
 半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	14,447	—	755	—	754	—	584	—
2025年3月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	30.60	—
2025年3月期中間期	—	—

(注) 1. 当社は、2024年10月1日付にて当社の完全子会社であった株式会社幸楽苑を吸収合併(略式合併)したことにより連結子会社が存在しなくなり、非連結決算会社となっております。このため、2025年3月期第2四半期(中間期)は連結業績を開示しておりましたが、2025年3月期第3四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2025年3月期中間期の経営成績(累計)及び対前年中間期増減率については記載しておりません。なお、2025年3月期中間期の連結業績との比較情報については、後述の【参考資料】をご参照ください。(2024年6月21日開催の定時株主総会の決議により、2024年10月1日をもって当社商号を「株式会社幸楽苑ホールディングス」から「株式会社幸楽苑」へ変更いたしました。)

2. 2026年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	12,086	6,595	54.2
2025年3月期	12,494	5,992	47.8

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 6,556百万円 2025年3月期 5,967百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	53.9	1,300	192.9	1,300	214.1	1,000	25.1	52.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年3月期中間期	20,832,441株	2025年3月期	20,832,441株
2026年3月期中間期	1,723,042株	2025年3月期	1,723,342株
2026年3月期中間期	19,109,109株	2025年3月期中間期	15,720,724株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

[参考資料]

当社は、2024年10月1日付にて当社の完全子会社であった株式会社幸楽苑を吸収合併(略式合併)したことにより連結子会社が存在しなくなり、非連結決算会社となっております。そのため、2026年3月期第2四半期(中間期)の経営成績(累計)は、比較情報がありません。そこで同条件となる2025年3月期中間期の連結経営成績(累計)と比較した場合の経営成績(累計) [参考資料] は、以下のとおりであります。(2026年3月期中間期の経営成績(累計)は変更ありません。)

(注) 2024年6月21日開催の定時株主総会の決議により、2024年10月1日をもって当社商号を「株式会社幸楽苑ホールディングス」から「株式会社幸楽苑」へ変更いたしました。

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	14,447	5.4	755	76.5	754	87.0	584	14.1
2025年3月期中間期	13,713	5.0	427	—	403	—	512	—

	1株当たり 中間期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	30.60	—
2025年3月期中間期	32.59	32.59

(注) 1. 2026年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 2025年3月期中間期の数値については、同条件比較用として連結の数値を用いております。そのため、2025年3月期中間期の経営成績(累計)における中間純利益については、親会社株主に帰属する中間純利益の金額を記載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
3. その他	9
(1) 販売の状況	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社は2024年10月1日付にて当社の完全子会社であった株式会社幸楽苑を吸収合併(略式合併)したことに
より連結子会社が存在しなくなり、非連結決算会社となっております。なお、当中間会計期間は、前年中間期
の比較情報が存在しないため、前年中間期の数値及びこれに係る対前年中間期増減率等の比較分析は行って
おりません。

また、第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外であり、文中における
[参考資料]としての数値及び比較分析等についても公認会計士又は監査法人のレビューの対象外となります。

(注) 2024年6月21日開催の定時株主総会の決議により、2024年10月1日をもって当社商号を「株式会社幸楽
苑ホールディングス」から「株式会社幸楽苑」へ変更いたしました。

当中間会計期間(2025年4月1日から2025年9月30日まで)における我が国の経済は、昨年から続く賃上げ
による雇用・所得環境の改善により個人消費の回復傾向は継続しているものの、円安に伴う物価上昇の影響に
より物価の変動を反映した実質賃金は8カ月連続で前年同月を下回る状況となるなど厳しさを増しておりま
す。また、米国の関税政策による輸出産業への影響、終息の兆しが見え始めた中東情勢、強まるロシアに対す
る国際社会の経済制裁、長期化する中国経済の低迷など、わが国を取り巻く景気の先行きは不透明な状況が続
いております。

外食産業におきましては、記録的な猛暑により冷たいメニューやビール類などの販売が好調に推移し、訪日
外国人観光客数が1月から9月累計期間において過去最速で3,000万人を超過するなど来店客数は順調に回復し
ております。また、価格改定による客単価の上昇もあり外食産業の売上高は堅調に推移しております。一方、
円安や不安定な国際情勢に起因する物価上昇により食材価格や新規出店・改装に係る建築資材価格の高騰、継
続する人手不足に伴う人件費関連コストの上昇などにより、経営環境は依然として厳しい状況が続いておりま
す。

このような経済環境の中、当社は「より多くの人々のよりふだんの食の場面によりおいしい味でより低い
価格の商品をより速いスピードで提供することに私達は喜びを持つ」という経営理念に、お客様へ安心安全で快
適な食事環境を提供することを基本方針として取り組んでおります。

現在当社が取り組んでおります中期経営計画「幸楽苑レジリエンス」における当中間会計期間の進捗状況に
ついてご説明いたします。

①ブランディング

自社工場による製造直販を活かした積極的なメニュー開発を行い、定番商品(グランドメニュー)と季
節・限定商品のそれぞれに新たな価値を創出することにより、従来からのお客様の来店回数増加に繋げ、新
しいお客様には、いつ来店されても飽きの来ないメニューラインアップを提供し「幸楽苑」ブランドの定着
を図っております。今年の猛暑への対応として「冷し中華」「つけめん」など涼を意識した商品を7品、限
定商品として「山形風芋煮らーめん」など3品の販売を行いました。また、お客様の利便性向上を目的に9
月よりキャッシュレス決済にコード決済を追加いたしました。これに伴いクレジットカード、電子マネー、
コード決済でのお支払いが可能となりました。

②人材育成戦略

新卒採用については、8年ぶりとなる採用活動を開始し、同時に新卒初任給の引き上げを公表いたしまし
た。採用活動状況は大学及び高校卒業見込み者からの想定を上回るご応募をいただいております。また、キ
ャリア採用は40名となり順調に推移しております。

③投資戦略

既存店舗の改装(リニューアル)を行うことにより店舗の付加価値を高める取り組みを行っております。
9月末までに11店舗のリニューアルオープンを行いました。7月末には7年ぶりとなる新店「道の駅国見あ
つかしの郷店」をオープンいたしました。リニューアル・新店いずれも計画通りに進捗しております。また、
海外フランチャイズ・タイ王国「プレジデント幸楽苑」において8号店(バンコク市内)、9号店(チョン
ブリー県)をオープンいたしました。

④SDGs・ESG経営

社会的な企業価値向上を目的として、環境(食品リサイクル、温室効果ガス削減)、社会(お客様の安
心・安全、ダイバーシティ推進)、企業統治(ガバナンス・コンプライアンス強化)に取り組んでおりま
す。

身近な取り組みとして、子ども食堂へ「幸楽苑のお食事券」10万円分と未使用の「らーめん丼」150個を
寄付するなど地域貢献に取り組んでおります。

以上の結果、当中間会計期間の業績は、売上高14,447百万円、営業利益755百万円、経常利益754百万円、中間純利益584百万円となりました。

当中間会計期間末の店舗数は、7年ぶりとなる新店「道の駅国見あつかしの郷店」のオープンなどにより367店舗となりました。店舗展開は、国内直営店347店舗、国内外フランチャイズ20店舗(国内11店舗、海外9店舗)となりました。

なお、「ラーメン事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

[参考資料]として同条件となる前中間連結会計期間の業績と比較した場合、売上高14,447百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益755百万円(前年同期比76.5%増)、経常利益754百万円(前年同期比87.0%増)、中間純利益は584百万円(前年同期比14.1%増)となります。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて674百万円減少し、5,343百万円となりました。これは、現金及び預金が589百万円、流動資産「その他」に含まれる未収入金が88百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて267百万円増加し、6,743百万円となりました。これは、建物が169百万円、有形固定資産「その他」に含まれる機械及び装置が145百万円増加し、リース資産が97百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて407百万円減少し、12,086百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて870百万円減少し、4,078百万円となりました。これは、買掛金が123百万円、短期借入金が700百万円、1年内返済予定の長期借入金が100百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて140百万円減少し、1,412百万円となりました。これは、長期借入金が49百万円、退職給付引当金が39百万円、固定負債「その他」に含まれるリース債務が32百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて1,010百万円減少し、5,491百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ603百万円増加し、6,595百万円となりました。これは、繰越利益剰余金の欠損額を補填し財務体質の健全化を図ることを目的として、資本剰余金を1,732百万円減少させ、利益剰余金を1,732百万円増加させたほか、中間純利益として利益剰余金が584百万円増加したことなどによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想は、2025年5月12日公表の業績予想を修正しております。詳細につきましては本日(2025年11月12日)公表いたしました「2026年3月期第2四半期(中間期)の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照お願いします。

なお、業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,721,957	4,132,460
売掛金	680,590	632,274
棚卸資産	277,503	301,173
その他	338,130	277,309
流動資産合計	6,018,182	5,343,217
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,079,108	2,248,430
土地	1,245,936	1,245,936
リース資産(純額)	704,713	607,394
その他(純額)	698,282	902,138
有形固定資産合計	4,728,040	5,003,900
無形固定資産	104,107	99,643
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,167,063	1,135,346
その他	480,925	508,539
貸倒引当金	△3,732	△3,732
投資その他の資産合計	1,644,256	1,640,154
固定資産合計	6,476,405	6,743,697
資産合計	12,494,587	12,086,915
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,070,498	946,930
短期借入金	1,100,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	199,960	99,960
未払費用	1,010,233	1,024,214
未払法人税等	163,503	242,362
賞与引当金	316,012	320,890
店舗閉鎖損失引当金	1,950	-
転貸損失引当金	3,137	2,875
ポイント引当金	29,363	29,671
その他	1,054,638	1,011,879
流動負債合計	4,949,297	4,078,785
固定負債		
長期借入金	108,410	58,430
退職給付引当金	215,042	175,746
転貸損失引当金	1,307	-
資産除去債務	871,383	866,989
その他	356,889	311,532
固定負債合計	1,553,032	1,412,698
負債合計	6,502,330	5,491,483

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,988,077	4,988,077
資本剰余金		
資本準備金	4,934,485	3,351,532
その他資本剰余金	149,332	-
資本剰余金合計	5,083,817	3,351,532
利益剰余金		
利益準備金	62,800	-
その他利益剰余金		
別途積立金	2,930,070	-
繰越利益剰余金	△4,725,155	584,808
利益剰余金合計	△1,732,285	584,808
自己株式	△2,383,820	△2,383,460
株主資本合計	5,955,788	6,540,957
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,648	15,588
評価・換算差額等合計	11,648	15,588
新株予約権	24,819	38,886
純資産合計	5,992,256	6,595,431
負債純資産合計	12,494,587	12,086,915

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)	
当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
売上高	14,447,396
売上原価	4,374,034
売上総利益	10,073,362
販売費及び一般管理費	9,318,121
営業利益	755,240
営業外収益	
受取利息	559
固定資産賃貸料	56,426
その他	18,186
営業外収益合計	75,173
営業外費用	
支払利息	6,077
固定資産賃貸費用	52,246
その他	17,678
営業外費用合計	76,003
経常利益	754,410
特別利益	
収用補償金	7,055
その他	300
特別利益合計	7,355
特別損失	
固定資産除却損	52,010
減損損失	74
その他	3,050
特別損失合計	55,135
税引前中間純利益	706,630
法人税、住民税及び事業税	151,730
法人税等調整額	△29,907
法人税等合計	121,822
中間純利益	584,808

[参考資料] (中間(連結)損益計算書)

当社は、2024年10月1日付にて当社の完全子会社であった株式会社幸楽苑を吸収合併(略式合併)したことにより連結子会社が存在しなくなり、非連結決算会社となっております。そのため、当中間会計期間の損益計算書は、比較情報がありません。そこで同条件となる2025年3月期中間会計期間の連結損益計算書と2026年3月期中間会計期間の損益計算書を比較した場合の[参考資料]は、以下のとおりであります。(当中間会計期間の損益計算書は変更ありません。)

(注) 2024年6月21日開催の定時株主総会の決議により、2024年10月1日をもって当社商号を「株式会社幸楽苑ホールディングス」から「株式会社幸楽苑」へ変更いたしました。

(2) 中間(連結)損益計算書

	(単位:千円)	
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	13,713,196	14,447,396
売上原価	4,031,735	4,374,034
売上総利益	9,681,461	10,073,362
販売費及び一般管理費	9,253,592	9,318,121
営業利益	427,869	755,240
営業外収益		
受取利息	619	559
固定資産賃貸料	64,566	56,426
その他	35,187	18,186
営業外収益合計	100,372	75,173
営業外費用		
支払利息	31,462	6,077
固定資産賃貸費用	63,064	52,246
その他	30,333	17,678
営業外費用合計	124,860	76,003
経常利益	403,381	754,410
特別利益		
建設協力金精算益	43,324	-
収用補償金	-	7,055
その他	26,800	300
特別利益合計	70,125	7,355
特別損失		
固定資産除却損	9,503	52,010
減損損失	11,994	74
その他	31,193	3,050
特別損失合計	52,691	55,135
税金等調整前中間純利益又は税引前中間純利益	420,815	706,630
法人税、住民税及び事業税	140,000	151,730
法人税等調整額	△231,600	△29,907
法人税等合計	△91,600	121,822
中間純利益	512,415	584,808
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	512,415	-

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビュー対象外であり、[参考資料]は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外となります。

(3) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は「ラーメン事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年6月19日開催の第55期定時株主総会に「資本準備金及び利益準備金の額の減少並びにその他の剰余金の処分の件」について決議しました。その概要は次のとおりであります。

1. 本件の目的

当社は、前事業年度末における繰越利益剰余金の欠損額を補填し財務体質の健全化を図ることを目的として、会社法第448条第1項の規定に基づき資本準備金の一部及び利益準備金の全額を取崩し、併せて会社法第452条の規定に基づきその他の剰余金の処分を行いました。

2. 資本準備金及び利益準備金の額の減少並びにその他の剰余金の処分内容

(1) 資本準備金及び利益剰余金の額の減少

① 減少する資本準備金の額	1,582,953,568円
② 増加するその他資本剰余金の額	1,582,953,568円
③ 減少する利益準備金の額	62,800,000円
④ 増加する繰越利益剰余金の額	62,800,000円

(2) その他の剰余金の処分

上記(1)によるその他資本剰余金の増加後にその他資本剰余金及び別途積立金の全額を減少し、繰越利益剰余金に振替えるものです。

① 減少するその他資本剰余金の額	1,732,285,603円
② 減少する別途積立金の額	2,930,070,000円
③ 増加する繰越利益剰余金の額	4,662,355,603円

3. 資本準備金及び利益準備金の額の減少並びにその他の剰余金の処分の日程

- (1) 取締役会決議日 2025年5月12日
- (2) 株主総会決議日 2025年6月19日
- (3) 効力発生日 2025年6月20日

4. その他

本件は、貸借対照表の純資産の部における勘定科目内の組替であり、当社の業績に与える影響はありません。また、当社の純資産額、発行済株式総数、1株当たりの純資産額に変更はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 販売の状況

① 品目別販売実績

(単位:千円)

期 別	品 目	前中間期 自 2024年4月1日 至 2024年9月30日		当中間期 自 2025年4月1日 至 2025年9月30日		(参考)前期 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日	
		売上高	百分比	売上高	百分比	売上高	百分比
直 営 店 売 上	らーめん類	6,957,784	50.7	8,227,975	56.9	14,571,942	52.5
	セット類	4,372,829	31.9	4,414,140	30.6	8,470,281	30.5
	ギョーザ	500,162	3.6	413,118	2.9	1,103,179	4.0
	ごはん類	231,797	1.7	221,293	1.5	463,480	1.7
	ドリンク類	300,032	2.2	329,721	2.3	586,063	2.1
	洋・和食類	328,355	2.4	-	-	567,270	2.0
	その他	788,482	5.8	619,400	4.3	1,561,397	5.6
	計	13,479,444	98.3	14,225,650	98.5	27,323,615	98.4
F C店等材料売上		193,314	1.4	178,940	1.2	375,304	1.3
ロイヤリティ収入		28,596	0.2	27,735	0.2	56,111	0.2
そ の 他		11,840	0.1	15,070	0.1	20,731	0.1
合 計		13,713,196	100.0	14,447,396	100.0	27,775,762	100.0

- (注) 1. 数量は品目が多岐にわたり表示が困難なため、記載を省略しております。
2. 千円未満は切り捨てて表示しております。
3. 2024年10月1日より非連結へ移行しましたが、従前のおり連結していたと仮定した場合の売上高を記載しております。

② 地域別販売実績

(単位:千円)

期 別	前中間期 自 2024年4月1日 至 2024年9月30日			当中間期 自 2025年4月1日 至 2025年9月30日			(参考)前期 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日		
	売上高	百分比	期末 店舗数	売上高	百分比	期末 店舗数	売上高	百分比	期末 店舗数
地域別		%	店		%	店		%	店
東北	5,191,779	38.5	132	5,699,352	40.1	133	10,624,960	38.9	132
関東	6,976,213	51.8	185	7,074,029	49.7	177	14,022,894	51.3	177
東海	329,935	2.4	9	359,584	2.5	9	679,034	2.5	9
北陸甲信越	981,517	7.3	28	1,092,684	7.7	28	1,996,724	7.3	28
計	13,479,444	100.0	354	14,225,650	100.0	347	27,323,615	100.0	346

- (注) 1. 上記の金額は、直営店売上についての地域別販売実績であります。
2. 千円未満は切り捨てて表示しております。
3. 2024年10月1日より非連結へ移行しましたが、従前のおり連結していたと仮定した場合の売上高を記載しております。